

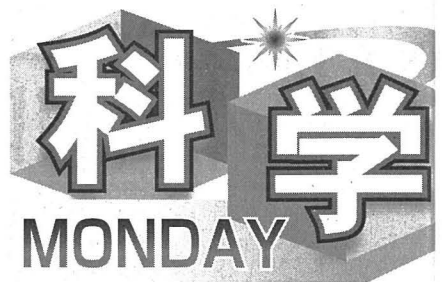
### 人文科学研究所 水野直樹教授



1974年京都大文学部卒。京都橘女子大助教授などを経て、2001年に京大人文学研究所教授。09年から2年間、同研究所長。

京都大品川セミナー第12回(5月13日)のテーマは、「歴史と名前―朝鮮人の名前はどのように変わってきたか―」。

朝鮮の人の名前は、姓、名、本貫の3要素から成っている。本貫とは祖先の発祥の地を示すもので、戸籍にも登録された。韓国では近年まで、子は父の姓を継ぎ、一生変えられないとい

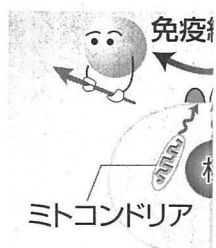


## なぜ

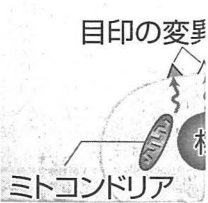
慶応大の岡野栄之教授らは、マウスのiPS細胞から作った神経幹細胞で、脊髄損傷のマウスを治療する実験をしたが、特に拒絶反応は見られなかったという。サルもiPS細胞から網膜細胞を作り、元のサルに移植した理化

大の山中伸弥教授は「マウスにiPS細胞を直接移植した時、うまく成長しないケースは実際に時々見られる」と話す。

## 推定2 ミトコンドリア突然変



通常の細胞



目印の変異

## 社会の変化 名前の慣習にも

に関する慣習を大きく変えようとした。1909年、日本の戸籍に似た民籍法が制定され、全ての住民に名前を登録させた。植民地支配の秩序を維持するため、日本人に似た名前はつけさせず、名前が日本人と朝鮮人とを区別できるように

国家への忠誠心を抱かせて、戦争に協力させようとした。それが、1940年に行われた創氏改名の最大の目的だった。

戦後、韓国は2005年の民法の大幅改正で、戸主制度を廃止した。同じ姓、本貫の男女の結婚禁止も改められた。さらに戸籍もなくし、個人登録制度に切り替えた。1000年ほど続いてきた名前に関する慣習が変わりつつある状況に、韓国社会の激しい変化を見て取ることができよう。



朝鮮の歴史と名前

う慣習があり、民法でも定められていた。一方で、同じ姓と本貫の男女は結婚できないとされていた。こうした慣習を基礎にして、宗族集団のまとまりが強く存在してきた。

朝鮮社会では宗族集団への帰属意識が強かったのだ、その力を弱める必要があった。戸主制度を導入し、家単位でつける氏を本名にすることで、朝鮮の家族制度のあり方そのものを変え、天皇を中心とする日本

次回開催は6月3日。貴志俊彦・地域研究統合情報センター教授「禁じられた戦時報道写真―朝日新聞富士倉庫資料の不許可写真」。

詳細はヨミウリ・オンライン。http://osaka.yomiuri.co.jp/

## 水素製造装置つながる成果

植物の重要な構造をこの研究の分解、作って、ば、クリ素を効果の開発科学誌「金」と呼ばれる中にあるカルシウム酸素原(ナノ)分解して電子を二